

# 平成25年度 学校評価アンケートのまとめ

一迫商業高等学校

※凡例



よく当てはまる



だいたい当てはまる



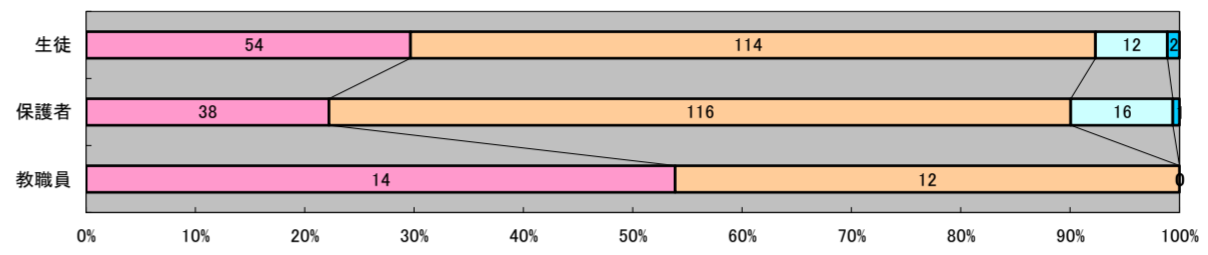
あまり当てはまらない



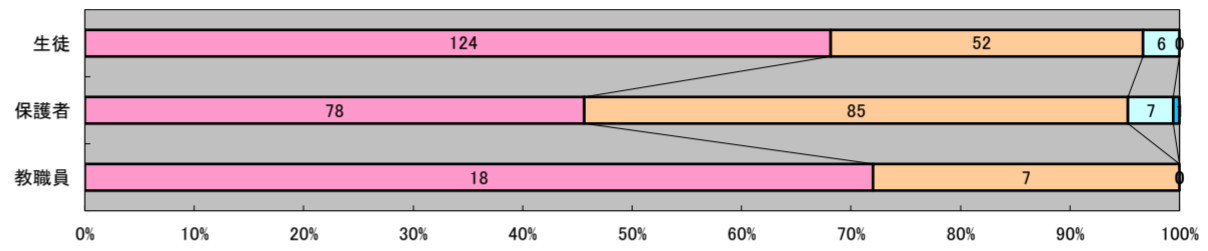
当てはまらない

## I 宮城県公立高等学校共通項目

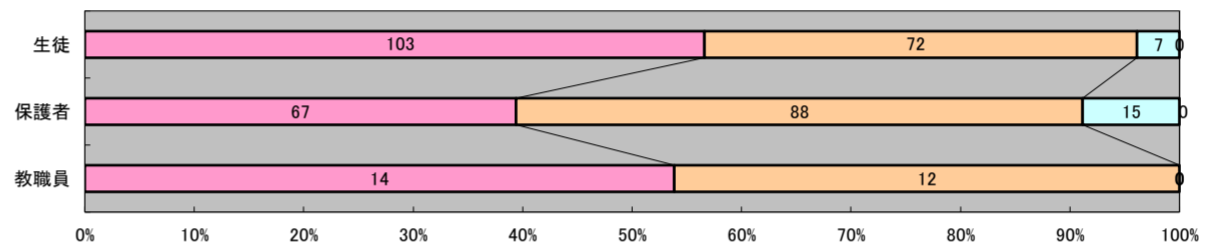
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）



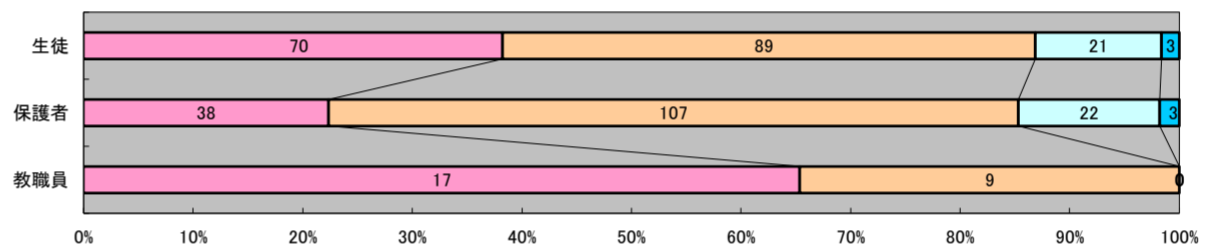
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）



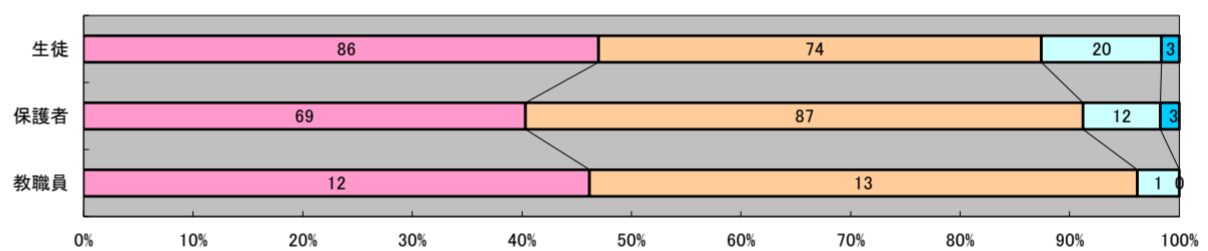
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）



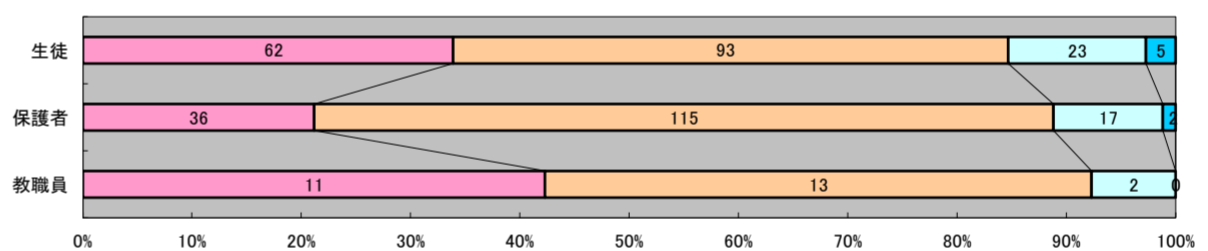
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）



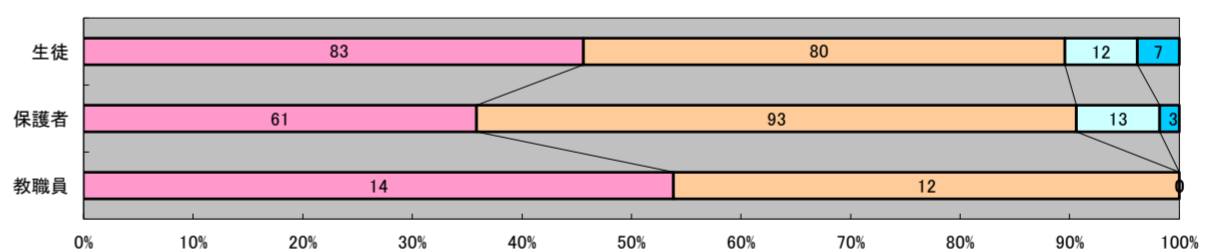
5 部活動は活発に行われている（部活動）



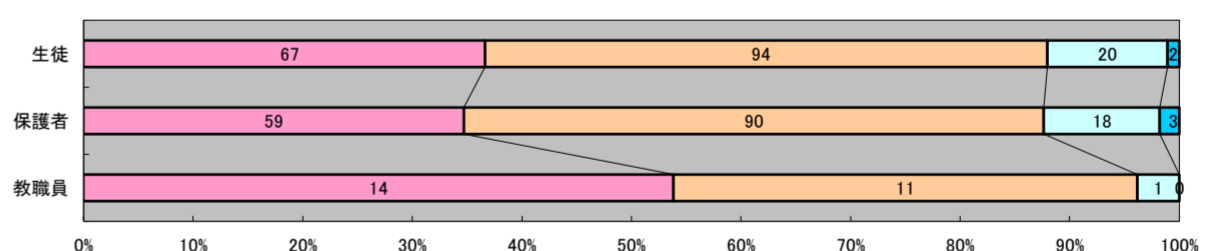
6 生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）



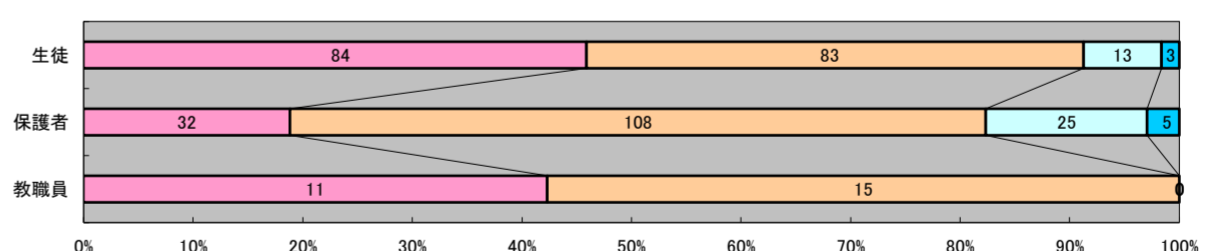
7 有意義な学校行事がある（学校行事）



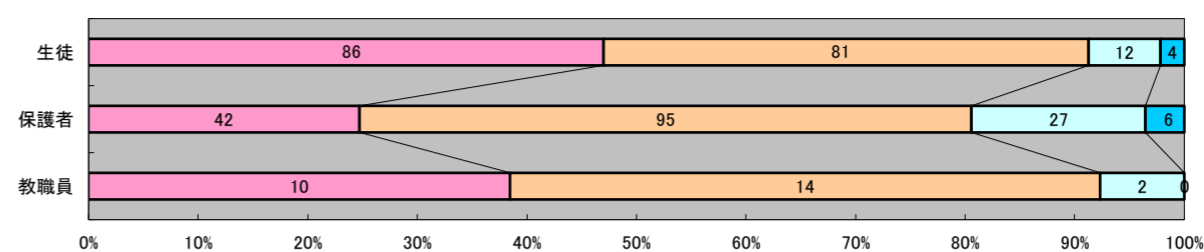
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）



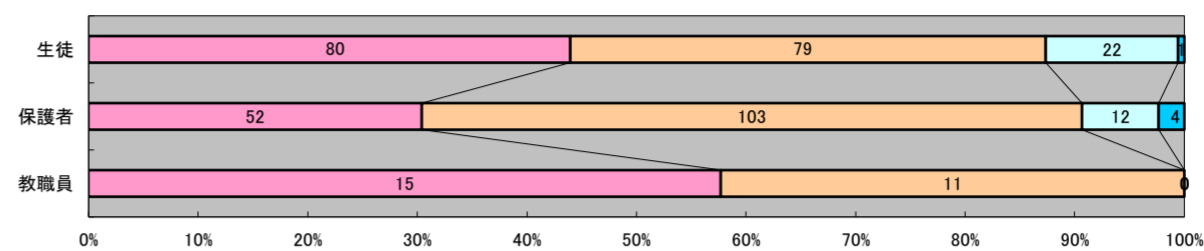
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）



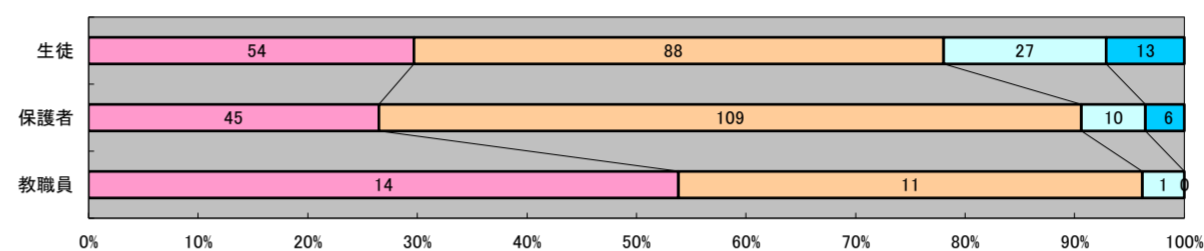
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）



11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）



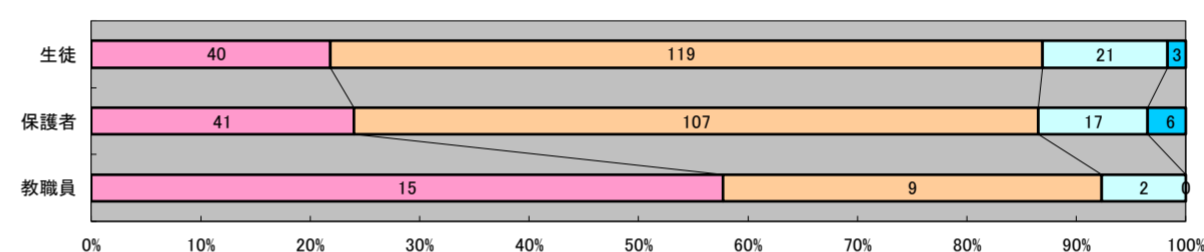
12 学校生活は充実している（総合満足度）



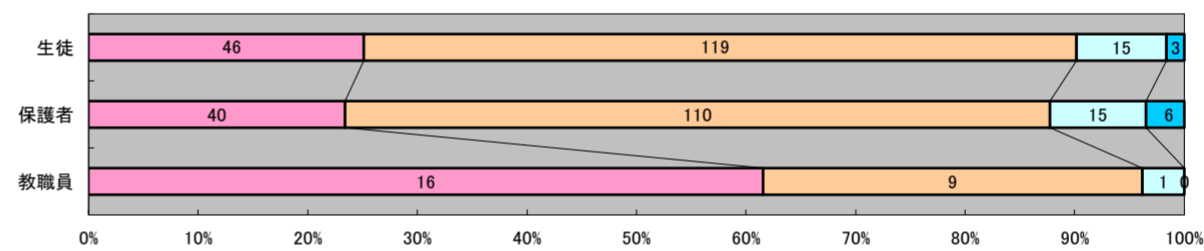
「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」のポイントが昨年よりアップしており、本校の教育が理解され、評価されていることが窺える。しかし、項目によっては「あまり当てはまらない」のポイントが教職員と保護者と間で差が生じている項目が見られる。（教員の評価が高く、保護者の評価が低い）  
この点について真摯に捉え、今後とも、本校の教育内容や教育姿勢を保護者の皆様に深く理解をして頂くよう、様々な機会に本校をPRし、活動をしなければならないと考える。

## II 教育方針と学校経営

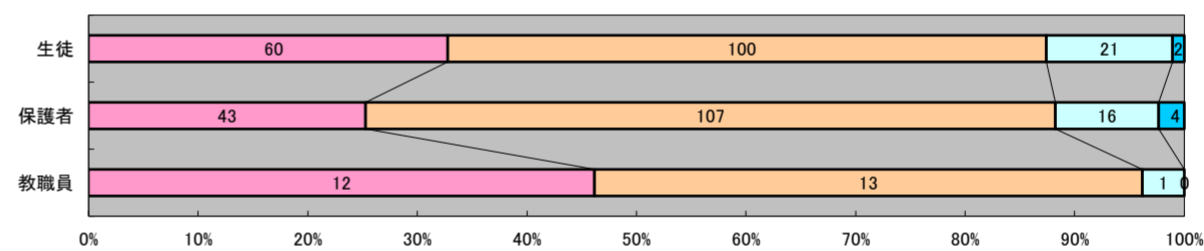
1 本校の教育方針や指導目標が分かりやすく共感できる。



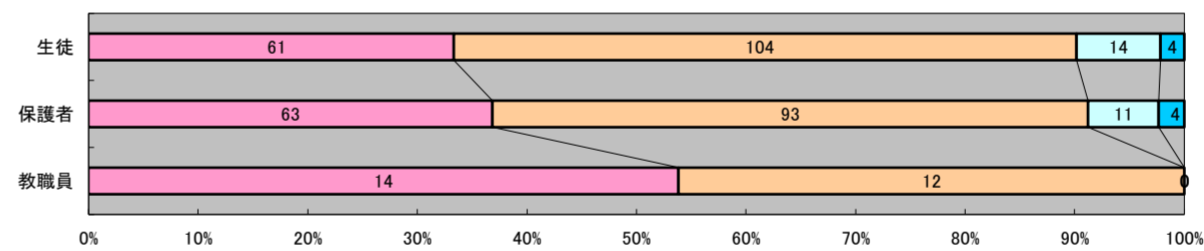
2 本校は、協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育てようとしている。



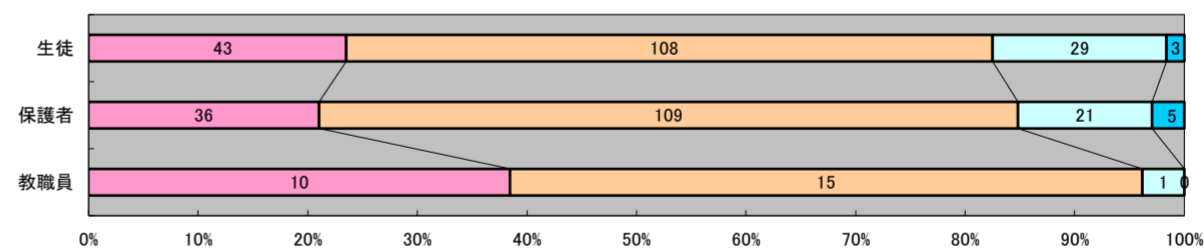
3 本校は、自主的で逞しい実践力のある生徒を育てようとしている。



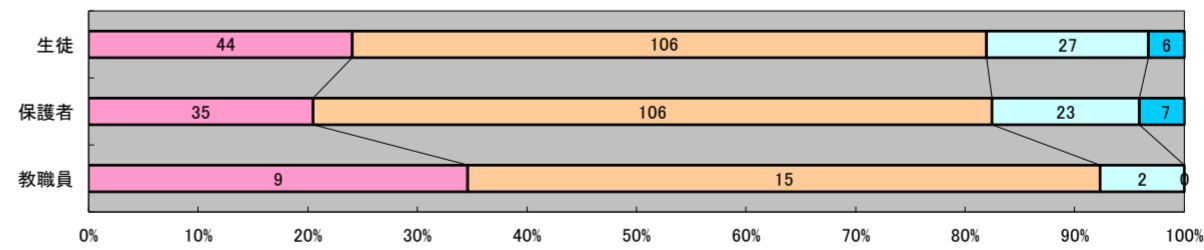
4 本校は、技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている。



5 本校は、豊かな情操と高い道徳心のある生徒を育てようとしている。



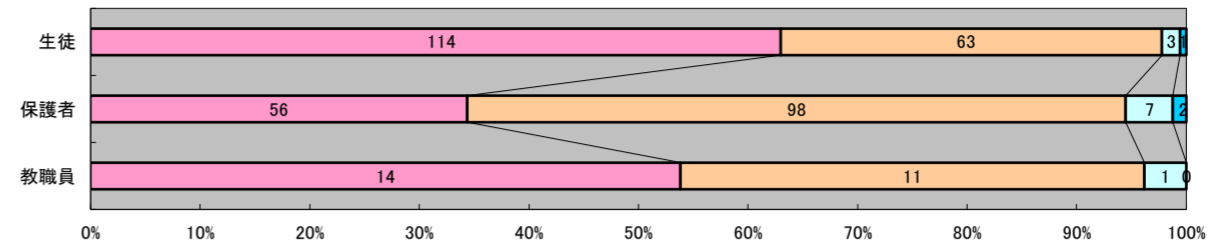
6 校長のリーダーシップのもと、全職員が一致団結して教育活動にあたっていると思う。



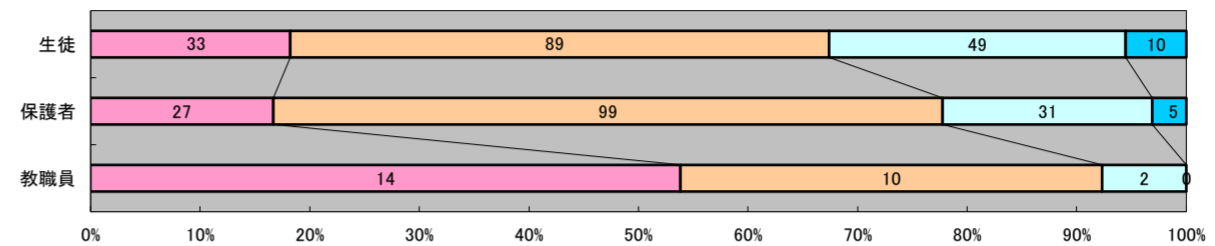
すべての項目において、「よく当てはまる」・「だいたい当てはまる」の回答が80%を超えており、本校の教育方針と学校経営に理解を示していることが窺える。各項目の回答において、昨年度よりも生徒・保護者のポイントが約10ポイント程度上昇しており、本校の教育姿勢が一定の評価をされていると推測される。  
今後は、ホームページの充実や一商だより、学年だよりを十分に活用して、生徒・保護者のみならず、地域社会に対しても、本校の教育方針および学校経営の更なる理解を求めていきたいと考える。

### Ⅲ 基礎学力の充実向上

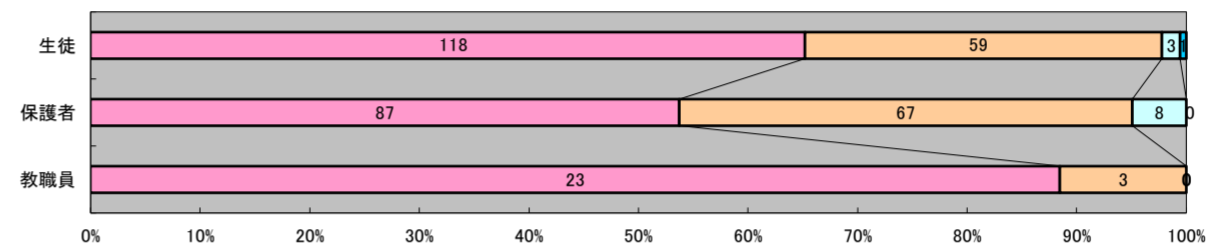
1 本校では、授業日数や時間は十分に確保されていると思う。



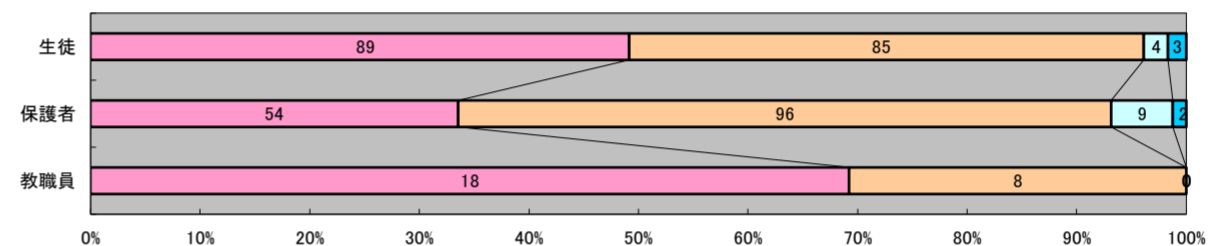
2 本校の先生は、生徒に授業後や週末によく宿題を出していると思う。



3 本校では、基礎学力の向上や検定取得に向けて課外や補習などを充分に実施していると思う。



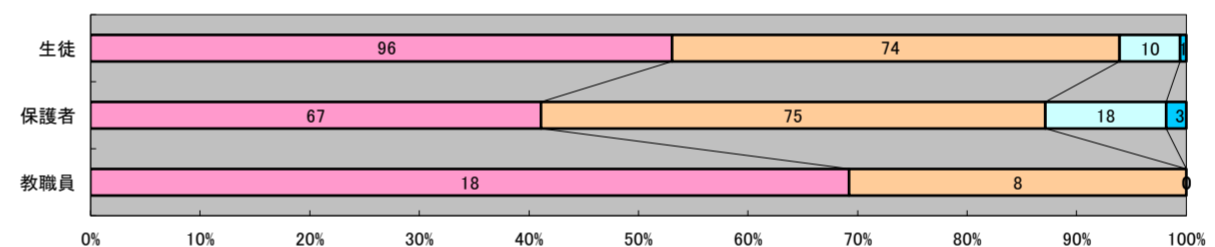
4 本校の学習環境は整っていると思う。



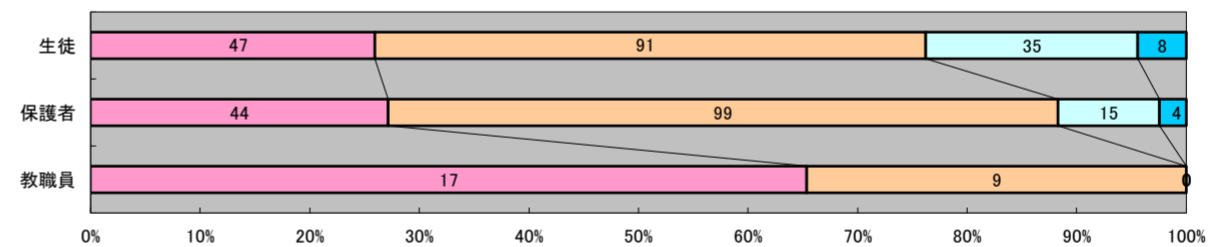
おおむね高い評価を得ている。特に項目3に関しては評価の改善が進んでおり、本校の検定取得に向けた朝、放課後の補習に関して、生徒・保護者ともに高い評価をしていると考えられる。一方、項目2に関しては保護者・教員ともに改善と評価したのに対して、生徒の評価は下がった。これは、生徒が与えられた課題をきちんと宿題だと認知していない、あるいは宿題の内容について生徒が物足りなさを感じているのではないかと考えられる。今後は宿題に関する指示を徹底するとともに、内容をより精査し、生徒の理解状況に沿った宿題を検討する必要があると思われる。

### Ⅳ 規律ある生活習慣の確立

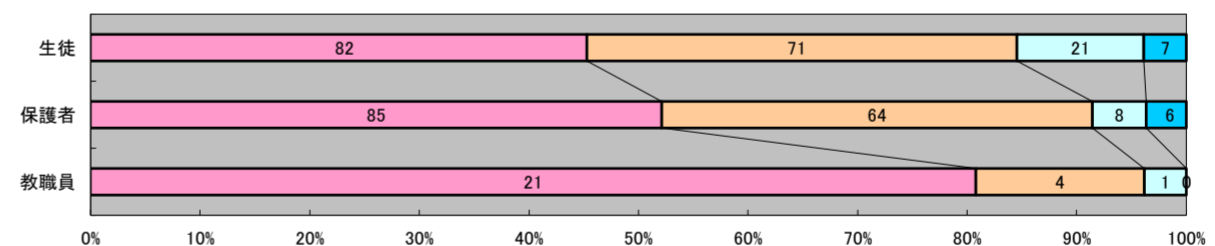
1 本校の生徒は、よくあいさつをすると思う。



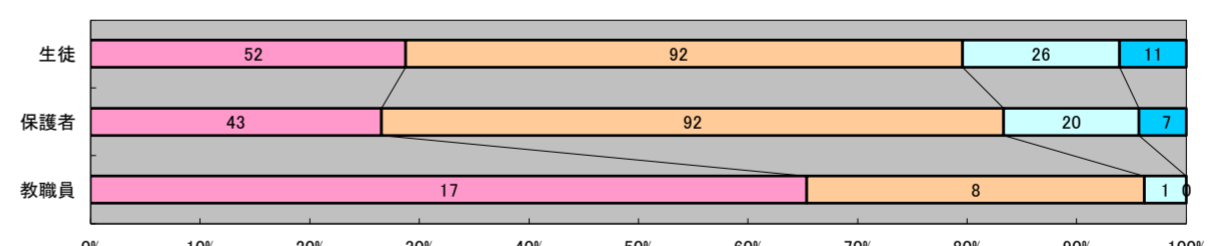
2 本校の生徒は、欠席・遅刻・早退が少ないと思う。



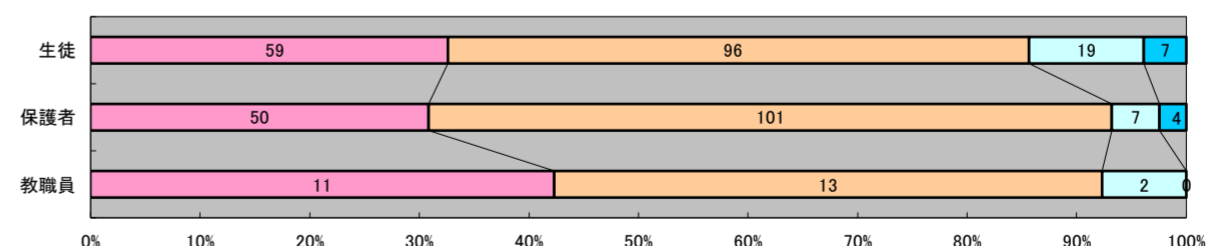
3 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）を厳しく指導しておりよいことだと思う。



4 本校では、いじめや差別を許さず厳しく対応していると思う。



5 本校は、清掃などが徹底されて、きれいで整理されていると思う。

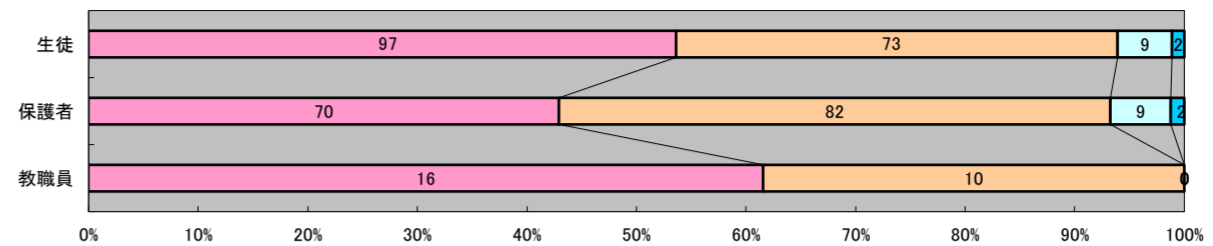


多くの項目で「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が8割を超えており、生徒自身が規律ある生活習慣をおくることができていると感じていると読み取れる結果となった。しかし、昨年と比較すると生徒の回答で、挨拶以外の項目が微減となっている。いずれも8割近くの高い水準ではあるものの、今後とも生徒の学校生活について注視していく必要があると思われる。

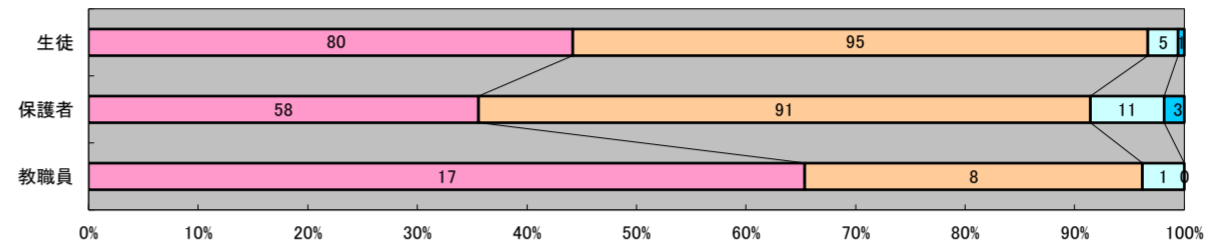
また、生徒の挨拶に関する意識、保護者の服装頭髪に関する意識、清掃に関する意識では90%以上が、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と答えており、今後も継続して挨拶、服装、清掃に力を入れていくことが肝要であると思われる。

## V 自主的な進路設計とその実現

1 本校では、生徒に適切な進路情報を提供していると思う。



2 本校では、自己の希望する進路を達成をしていると思う。



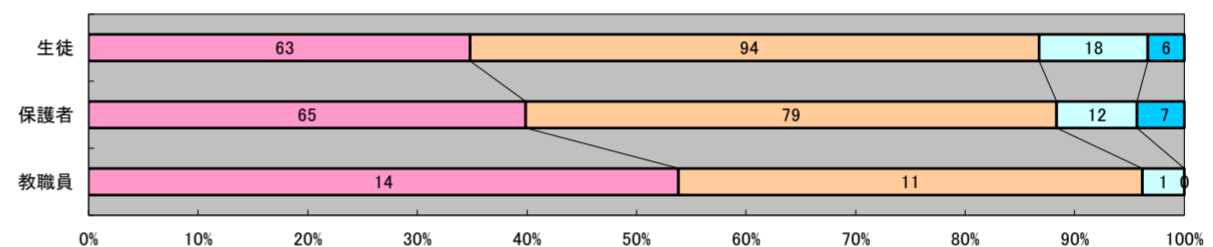
「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の結果から、項目1については、生徒の回答が昨年度の93.0%から93.9%と向上した。また、2についても92.4%から96.7%に向上し、進路意識の高めようとした学校の取り組みが生徒に浸透した結果と思われる。

項目1の「進路情報の提供」について、昨年に引き続き保護者の理解も得られ、高評価を得ている。2の「希望する進路の達成」についても生徒、保護者および教職員の90%以上が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答しており、求人数もやや売り手市場の傾向と、十分な面談などの話し合いの結果から高評価を得ることができたと思われる。

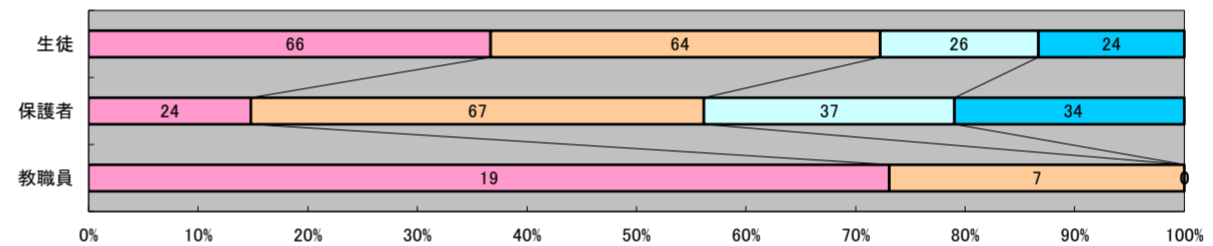
今後は、進路行事等を再検証するとともに、さらに保護者との連携を密にし、早期から進路を視野に入れた指導を重ねていきたい。

## VI その他

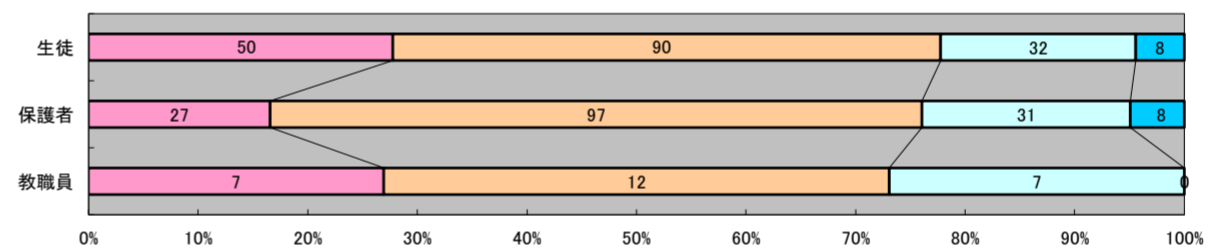
1 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応してくれていると思う。



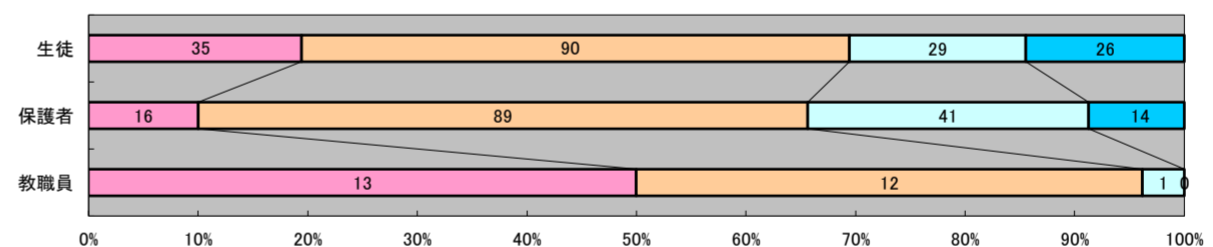
2 本校が実施している栗原版デュアルシステムを知っている。



3 本校は、各種のボランティア活動を積極的に行っていると思う。



4 本校のホームページは、内容が充実していると思う。



各項目とも昨年度とポイントに大きな変化はない。項目1の「職員の対応が礼儀正しく親切か」に関して、保護者の評価が若干だが向上している。しかし、この質問に関しては否定的な評価をさらに減少させなければならない。職員は結果を真摯に受け止め、共通課題として認識することが必要である。

栗原版デュアルシステムについては今年度質問を変えたことにより「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が30%増加したと考えられる。

ホームページの内容充実の質問項目に対して、生徒・保護者の30%前後が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している。主観的な要素も多分に考えられる項目であるが、更なる充実を努めたいと考える。